

次期大会のご案内

次期大会について

第68回日本神経化学学会大会は、2025年9月11日(木)・12日(金)・13日(土)の3日間にわたり、愛知県名古屋市にて開催させていただきます。

第68回の大会のテーマは、「まるっと神経化学！」です。「まるっと」という言葉は今では全国的に用いられていますが、もともとは東海地方の「まるごと」を意味する方言です。近年、他学会と合同での開催やオンライン開催が続いておりましたが、8年ぶりに日本神経化学学会が単独で現地開催する大会となります。そのため、「大会まるごと神経化学」、つまり、大会全体が日本神経化学学会のプログラムとなり、神経化学のあらゆる分野の研究成果の発表や学会独自の企画を存分に楽しんでいただくことができます。また、「参加者まるごと神経化学」、つまり、学生からシニアまで全ての参加者層が活躍し、交流できる大会を実現します。さらに、一人でご参加いただく方や、初めて学会に参加される方にも楽しんでいただける企画を準備しています。参加した全ての方が満足感を得られ、神経化学を研究する意義や楽しさを再認識できる大会を目指したいと考えています。

現在、大会実行委員長の金子奈穂子先生、プログラム委員長の和氣弘明先生をはじめ、大会組織の皆様とともに、鋭意準備を進めております。ニューロン新生の研究分野を牽引するUCSFのArturo Alvarez-Buylla先生や、神経化学における極めて重要な分子を発見したレジェンドである竹市雅俊先生と御子柴克彦先生など、著名な先生方をお招きしました。その他、特別講演、日本再生医療学会とのジョイントシンポジウム、フラッグシッププロジェクトシンポジウム「リバーストランスレーショナルリサーチ」、テクニカルワークショップ、優秀賞受賞者による企画シンポジウム、公募シンポジウム、若手道場、研究室紹介、ミニ口演、若手研究者育成セミナーなど、充実したプログラムを準備しております。

演題募集、参加登録などの詳細については、大会のウェブサイトをご確認下さい。

会場の「ウインクあいち」は、JR名古屋駅から徒歩5分という大変便利な場所にあり、周辺には、なごやめしやショッピングなどをお楽しみいただける場所も多数ございます。

皆様方のご指導ご鞭撻そしてご協力をお願い申し上げます。全国からの多くの皆様方のご発表ご参加を、名古屋でお待ちしております。

第68回日本神経化学学会大会長
澤本 和延

The 68th Annual Meeting of
the Japanese Society for
Neurochemistry

第68回 日本神経化学学会大会

2025年9月11日(木)ー13日(土)

ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

<http://www.congre.co.jp/jsn2025/>

大会長:澤本和延

名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経科学研究所

神経発達・再生医学分野

第68回日本神経化学学会大会 運営事務局

株式会社コングレ 中部支社内

E-mail: jsn2025@congre.co.jp



大会テーマ

まろつと
神経化学

オンライン参加登録期間 (予定) Online registration

早期
2025年2月1日(土)~6月15日(日)

Early Bird
Feb. 1st - Jun. 15th, 2025

通常
2025年6月16日(月)~8月15日(金)

Regular
Jun. 16th - Aug. 15th, 2025

※ 現地での当日参加登録は予定していません

※ No on-site registration will be available.

第68回
日本神経化学学会大会
ホームページ



公募シンポジウム募集期間 (予定) Call for symposia

2024年10月1日(火)~12月15日(日)

Oct. 1st, - Dec. 15th, 2024

一般演題 (ミニシンポジウム、ポスター) 募集期間 (予定) Call for oral and poster presentations

2025年2月1日(土)~4月15日(火)

Feb. 1st - Apr. 15th, 2025

プレナリーレクチャー Plenary lecture



- Arturo Alvarez-Buylla
(University of California,
San Francisco)

特別講演 Special lectures



- 大隅 典子 (東北大学)
Noriko Osumi
(Tohoku University)



- 岡野 栄之 (慶應義塾大学)
Hideyuki Okano
(Keio University)



- 小野寺 理 (新潟大学)
Osamu Onodera
(Niigata University)



- 小泉 修一 (山梨大学)
Schuichi Koizumi
(University of Yamanashi)

レジェンドレクチャー Legend lectures



- 竹市 雅俊 (理化学研究所)
Masatoshi Takeichi
(RIKEN)



- 御子柴 克彦 (上海科技大学)
Katsuhiko Mikoshiba
(ShanghaiTech University)

予定企画

- 理事会企画シンポジウム フラッグシッププロジェクト『リバーストランスレシヨナルリサーチ』
オーガナイザー: 林(高木) 朗子、七田 崇
- 日本再生医療学会合同シンポジウム
オーガナイザー: 岡野 栄之
- 優秀賞受賞者企画シンポジウム
オーガナイザー: 長井 淳
- テクニカルワークショップ
光学顕微鏡・電子顕微鏡・オミクス解析 など
- 神経化学の若手研究者育成セミナー
- 若手道場
- 第2回フォトコンテスト結果発表
- 研究室紹介
- ミニ口演「みんなの研究、3分でまるっと紹介！」

本大会のテーマは、「まるっと神経化学！」です。「まるっと」という言葉は今では全国的に用いられていますが、もともとは東海地方の「まるごと」を意味する方言です。近年、他学会と合同での開催やオンライン開催が続いておりますが、8年ぶりに日本神経化学学会が単独で現地開催する大会となります。そのため、「大会まるごと神経化学」、つまり、大会全体が神経化学のプログラムとなりますので、本学会の会員による発表や独自の企画を存分に楽しんでいただけます。また、「参加者まるごと神経化学」、つまり、若手からシニアまで全ての方が活躍し、交流できる会を実現します。さらに、一人でご参加いただく方や初めて参加される方にも楽しんでいただけるように工夫します。参加した全ての方が満足感を得られ、本学会の歴史を学びつつ、神経化学を研究する意義や楽しさを再発見できる大会を目指します。名古屋で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

第68回日本神経化学学会大会

大会長 澤本 和延

(名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経科学研究所 神経発達・再生医学分野)

